



2020年4月13日

各位

会社名 株式会社プロパスト  
代表者名 代表取締役社長 津江 真行  
(コード：3236、JASDAQ)  
問合せ先 常務取締役管理本部長  
兼経営企画部長 矢野 義晃  
(TEL. 03-6685-3100)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年4月13日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年7月8日の2019年5月期決算発表時に開示した2020年5月期（2019年6月1日～2020年5月31日）の通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年5月期 通期業績予想数値の修正（2019年6月1日～2020年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 18,950	百万円 1,139	百万円 700	百万円 500	円 銭 17.87
今回修正予想（B）	23,649	1,542	1,094	743	26.69
増減額（B-A）	4,699	402	393	243	—
増減率（％）	24.8	35.3	56.2	48.6	—
（参考）前期実績 （2019年5月期）	18,002	1,378	862	730	26.09

#### 2. 修正の理由

2020年5月期の通期業績予想における売上高については、前回予想値を4,699百万円上回る23,649百万円を見込んでおります。主な要因としては、賃貸開発事業とバリューアップ事業において売却が想定以上に進捗したことによるものであります。賃貸開発事業においては、当初10プロジェクトの売却を想定しておりましたが、前倒して売却が進捗し、17プロジェクトの売却が見込まれております。この結果、賃貸開発事業の売上高が当初予想値を2,993百万円上回る12,001百万円となる見込みです。また、バリューアップ事業においては、当初

9プロジェクトの売却を想定しておりましたが、既存の保有プロジェクトでの売却進捗に加えて、新規で取得した物件の売却も進んだことから、13プロジェクトの売却が見込まれております。この結果、バリューアップ事業の売上高は当初予想値を1,742百万円上回る5,976百万円となる見込みであります。

営業利益については、前回予想値を402百万円上回る1,542百万円を見込んでおります。主な要因としては、賃貸開発事業の各プロジェクトの売却が前倒しで実施できたことに加えて、複数プロジェクトで当初想定したよりも収益率が向上したことによるものであります。

経常利益については、前回予想値を393百万円上回る1,094百万円を見込んでおります。これは賃貸開発事業とバリューアップ事業での増収効果と賃貸開発事業での収益率向上効果が寄与したことによるものであります。

当期純利益については、前回予想値を243百万円上回る743百万円を見込んでおります。これも経常利益と同様の理由によるものであります。

以上